

育英資金制度の増額を

星川智子委員

一度も償還していない方がいると聞いたが、その後の状況はどうか。また、基金残高が1億円を超えている状況。光熱費高騰、物価高騰の中で、授業料の値上がりも当然あるものと考えられる。少子化の影響により奨学生数の減少も考えられることから、

を拡充させることとしていた。従前の制度は残しつつ、今年度からは、職種に限定せず町に帰った方の奨学金の2分の1を免除することとした。増額については、今後具体的な試算をして検討していく。その他の質問

- ・職員の採用計画
・デマンド交通運行委託料
・スクールの送迎他3件

貸与金の増額は考えられないか。
答 町長
現時点では検討には入っていない。育英会全体の収支は好調であり検討に値するが、前段として奨学金の免除制度

金山町育英会奨学生募集
対象者 町内に住所を有する者の子弟であって、学校教育法に規定する4年制大学、短期大学および専門学校に在学、または進学し、成績優秀(高校の評点:3.5以上)、品行方正な者。
貸与額 ①4年制大学 4万円/月、②短大・専門学校等 3万円/月
貸与期間 在学する大学・短大・専門学校等の最短期間(卒業後1年以内)に限り返還免除となり得る。
返還の免除 以下の2点のいずれも満たした場合に、貸与した奨学金の半額が返還免除となり得る

猫の避妊・去勢手術助成を

中村忠行委員

県内では、市町村・獣医師会等で猫の不妊・去勢手術費補助事業を行っている。飼い猫と飼い主のいない猫の2パターンで猫の避妊・去勢手術助成はできないか。

師会が助成を行っており、メス・オス50匹ずつ合計100匹を対象にしている。来年度の予算編成前に一度最上管内の担当者間で情報交換の場を設けて欲しいと、保健所の方に要望しており、話し合いをしながら、来年度の予算要求にどう対応すべきかを今後検討していく。

環境整備課長 助成額の状況としては、メスの避妊手術が8千円から1万4千円、オスの去勢手術が5千円から7千円程の状況がほとんどである。市町村以外では、県の獣医

- ・人とペットの災害対策の推進
・新庄南高校金山校の魅力化事業
・長期優良住宅認定他3件



森の子ども図書教室の方向性は

須藤典夫委員

森の子ども図書教室について狭いという声があるがどういった状況か。森図書は検討しているということだが、方向性はいつ頃定まる予定か。

しては、学校の空き教室の活用を視野に校長先生や代表などと共に行話を進めるところである。放課後子ども教室の場所が小学校の教室となると、場合によっては修繕も必要になってくるかもしれない。年度内の補正予算編成の可能性もあり。早ければ来年度からの移行もありうる。

教学課長 きつねのボタンにご協力いただいた。小学校中学校の読み聞かせや図書支援の活動などを実施している。代表から話伺っており、適した場所について検討を進めている。教育委員会と

- ・小学校統合されて、不登校の問題やいじめ
・道路等の維持管理改善整備
・ほ場整備事業他1件



ぼすと(森の子ども図書教室)

農業を続けるための支援は

寒河江宏一委員

当町で新規参入者についての補助金はあるか。管内の団体では色々と支援しており、農業を続けるにはどうしていくべきか検討できないか。

策は大いに参考にすべきである。農業関係者との意見交換を予定しており、次年度の予算要求にあたっても勉強させていたいただきたい。その他の質問

- ・道路維持費
・修景形成助成金
・街角交流施設等の指定管理料他1件

産業課長 新規就農者に対する支援については、町単独の支援はない。国や県の支援があるが、

現在1名の方が年間150万円程度の支援を受けている。町長 農業の面でも所得を上げるのは非常に重要な視点である。他の市町村で効果が上がっている施



町単独補助の作業機

総合政策課長 スピード感が職員にも見え始め、将来に向けて改善意識は高まった。今後も事業見直しを恒常的に続けながら、良いものを取り入れ、悪いものは改善しながら進めていきたい。町長 金額的な目標を目指して実施してきた。成果を求めることについて薄い部分があったと思うが、スピード感をもって実施できるようなってきた。横の連携



職員DX研修

としては、プロジェクトチームを立ち上げ様々な取り組みの課題に向けて検討しながら、部署を超えた連携を行い効果が出てきている。ただ先を見据えてという視点は不十分な点があるため、職員ひとりひとりが明確にイメージできるようにしていきたい。庁舎内で議論しながら今後対外的なところに向かっていきたい。

- ・地域運営組織
・中高一貫教育(最上学的地域調査、目標)

チップボイラーの再稼働を

栗田保則委員

町有資産の見直しの観点から、未利用資産の積極的活用をはかるため森林環境譲与税を活用してチップボイラーを再稼働できないか。

2削減は大きな課題であるため、再稼働に向けて検討は必要だと思いが、メンテナンスの部分で対応できるのか。またホットハウスカム口を新たに建築という大きな計画があるため、設計段階でゼロカーボンを意識した施設整備に取り組んでいきたい。

- ・街並み景観助成事業
・小規模事業者支援事業費補助金

産業課長 チップボイラーの重要性は理解できる。今後に向けて有効に活用できるのか検討したい。財源については森林環境譲与税の活用は可能と捉えている。深い視点で検討の必要があると思う。町長 ゼロカーボン宣言した町においてCO



チップボイラー建屋